

「山崎範夫のミシン」

型式：AG-001 取扱説明書

このミシンを安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」をご使用前に必ずお読みください。「取扱説明書」は手元に保管し、未長くご活用ください。



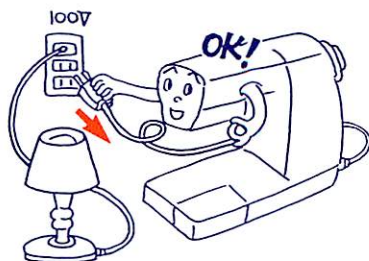
このたびは、ヤマザキミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。
このミシンは、直線縫いやジグザグ縫いはもちろん、ホームソーイングに必要な縫いが簡単にできる家庭用電子速度制御ミシンです。このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」は、保証書と共に大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。

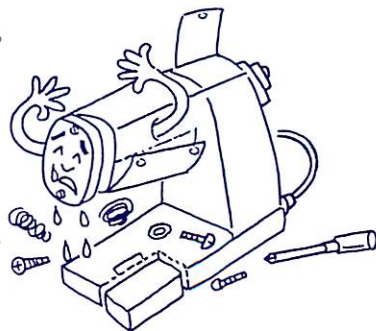
警告 感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ミシンのそばを離れるとき。
 - ・ミシンを使用したあと。
 - ・ミシン使用中に停電したとき。



注意 感電、火災、けがなどの原因となります。

1. お客さま自身での分解、改造はしないでください。
2. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
3. ミシンの操作中はカマカバーなどのカバー類は必ず閉めてください。
4. 曲った針、先のいたんだ針はご使用にならないでください。
又、ご使用後の針、不良針の処置には十分注意してください。
5. 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。



6. お子さまがご使用になるときや、お子さまの近くで使用されるときは、特に安全に注意してください。

7. 以下のことをするとき、電源スイッチを切ってください。

- ・針、押え、アタッチメントを交換するとき。
(ランプの交換はランプが冷えてから行ってください。)

- ・「取扱説明書」に記載のあるミシンの手入れをするとき。
- ・原則として上糸、下糸をセットするとき。

8. ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、ご購入店、または当社指定のサービス店にて点検、修理、調整をお受けください。

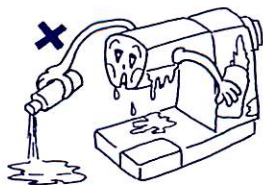
- ・正常に作動しないとき。
- ・落下などにより破損したとき。
- ・水に濡れたとき。
- ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
- ・異常な臭い、音がするとき。

9. ミシンを正しく使用するためには安定したテーブル、机においてご使用下さい。



ミシンの取り扱い

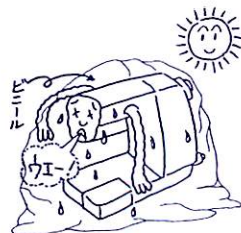
シンナーやベンジンなどでふかないでください。



低温の場所から出したときは、普通の温度になじむまで、しばらく置いてください。時間がたてば正常に作動するようになります。保管は、なるべく寒いところをさけてください。



直射日光に光てたり、高温多湿のところに置かないでください。



●このミシンは、皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてミシンの外観、デザインおよび、付属品を変更することがあります。

●箱と発泡スチロールは保存してください。(長期使用しないときの保管や、修理など送付するときに必要です。)

●このミシンは、日本国内向け、家庭用です。 **FOR USE IN JAPAN ONLY.**

目次

安全にご使用いただくために	表紙裏	布地の裏側がタオル地のようにするには	15
ミシンの取扱い	1	押えを上げてても布を引き出せない時には	15
目次/ミシンの特長	2	針の取りかえ方	15
補助テーブル/付属品	3	押えの取りはずし方、取りつけ方	16
各部の名称	4	ジグザグ縫い・縁かがり(裁ち目がかり)	17
各部の働き	5	ボタン穴かがり	18・19
電源のつなぎ方と始動・停止	6	まつり縫い(ブラインドステッチ)	20
ボビンケースの取り出し方	7	点線ジグザグ縫い	21
下糸の巻き方	8	パッチワーク	21
ボビンケースの取りつけ方	9	アップリケ	22
上糸のかけ方	10	ピンタック	22
下糸の引き上げ方	11	ミシンの手入れ	23・24
直線縫い	12	ランプの交換	24
返し縫い	13	ミシンの仕様	25
縫い方向のかえ方	13	こんなときには(調子が悪い場合)	26・27
厚地や段縫いの場合には	13	修理サービス要領	28
上糸・下糸調子のとおり方	14	サービス工場のご案内	29
針と糸の選び方	15	純正指定アクセサリのご案内	29

このミシンの特長

1. 電子回路により低速でも強力なパワーがありますので厚物がらくらくと縫えます。
2. 縫う早さは低速から高速まで自由に選べます。

このミシンで縫える縫い目



直線縫い



ジグザグ縫い



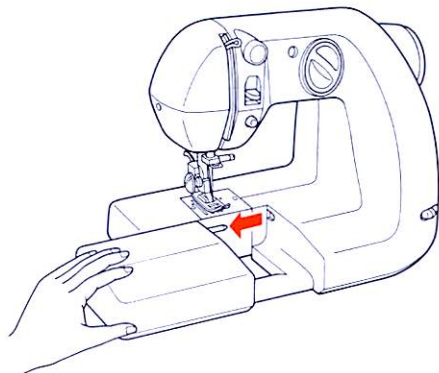
まつり縫い



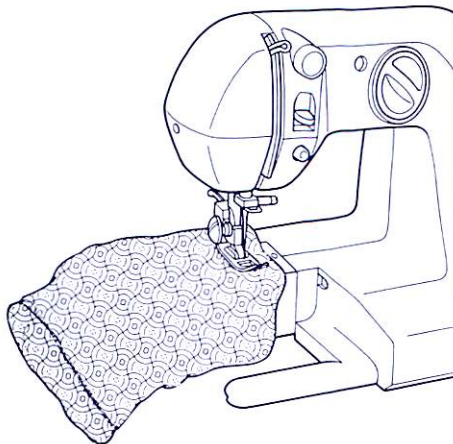
ボタンホール縫い

補助テーブル・付属品

●フリーアームの使い方



補助テーブルの左端を持って、左へ引くと簡単にはずれます。このままフリーアームとして使えます。



袖付け、袖口のカフス付け、ズボンのすそ、衿付け等、筒形のもの縫うときに使います。

●付属品



油さし



リップパー

糸立て棒
(水平式)



ドライバー



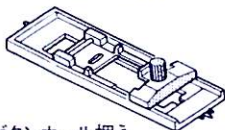
針板ドライバー



ボビン



糸コマ押え



ボタンホール押え
(制限付)

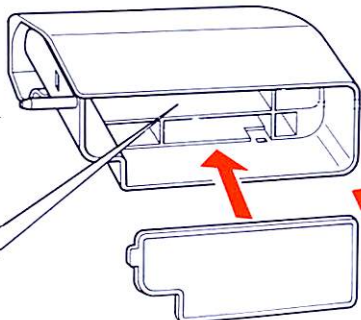


ミシン針 (4本入)

11番、14番、16番
ニット針11番(青色)



ブラシ



ここから指を
入れては
ずす



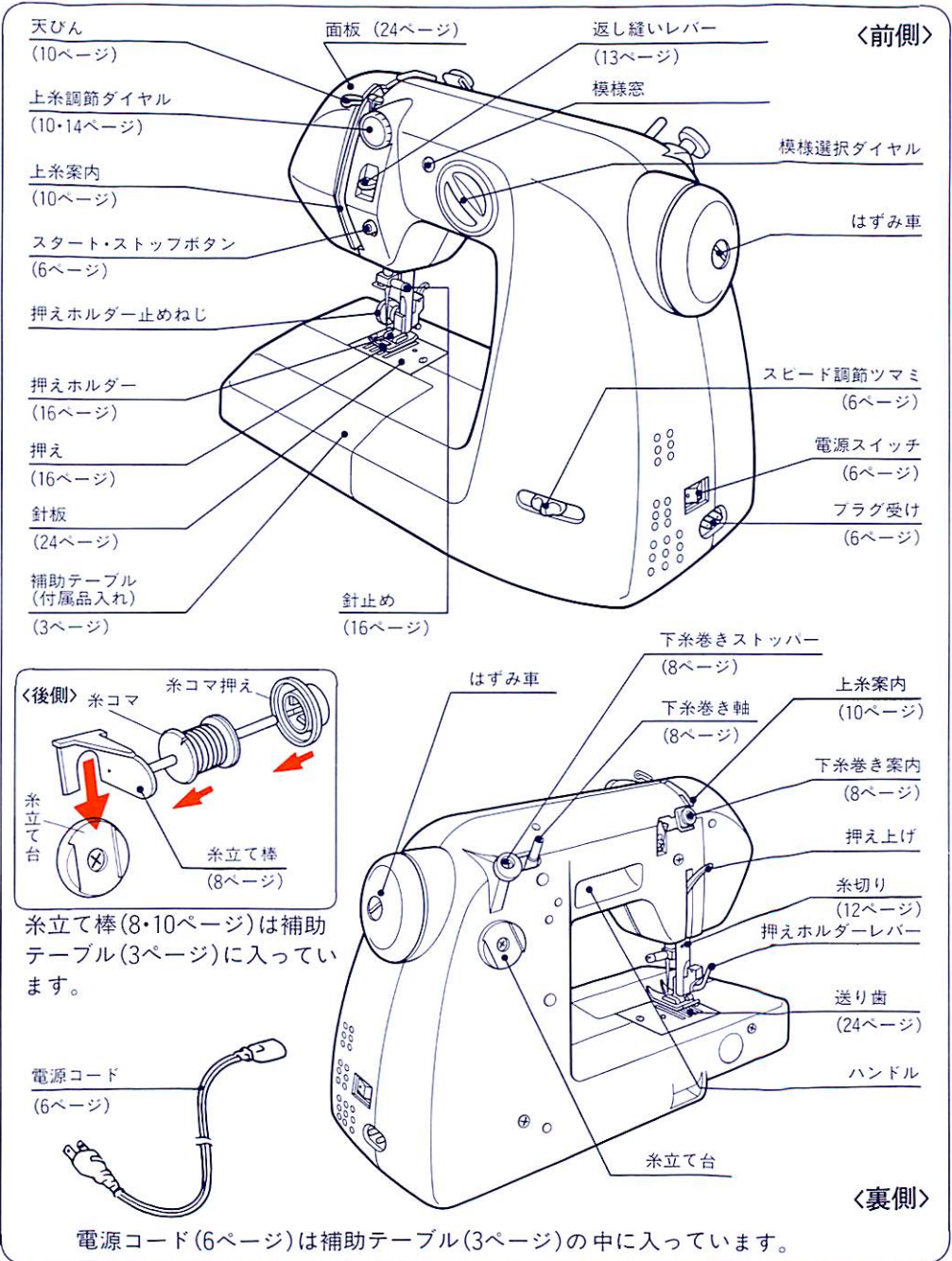
電源コード

- 付属品、電源コードは補助テーブルの内側に収納されています。
- 針板ドライバーは針止めねじ、押えホルダー止めねじにも使用してください。



ミシンカバー

各部の名称



各部の働き

(10・14ページ)

上糸調節ダイヤル

ダイヤルを回して上糸の調子を調節します。数字が大きくなるほど、糸が強く締まります。

(13ページ)

返し縫いレバー

返し縫い、止め縫いのとき使います。レバーを下に押し下げている間は、返し縫いになります。

(6ページ)

スタート・ストップボタン

電源スイッチを「ON」にして押しますとミシンが動き始めます。もう一度押しますと止まります。

模様選択ダイヤル

12種類の模様が選択できます。

⚠注意:ケガ防止のために
模様選択ダイヤルを回すときは必ず針を布地から上げてください。運針中に変えるのはおやめください。

模様窓

模様選択ダイヤルで選んだ模様が表示されます。

(6ページ)

スピード調節つまみ

縫う速さを自由にセットできます。右にしますと速くなり、左にしますと遅くなります。裁縫中に自由に速度を変えることができます。

⚠注意:ケガ防止のために
針先には十分注意してください。

電源スイッチ

(6ページ)

前側●印を押すと電源「ON」になり照明ランプが点灯します。後側を押すと「OFF」となり照明ランプが消えます。

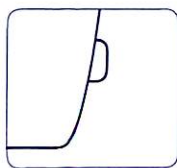
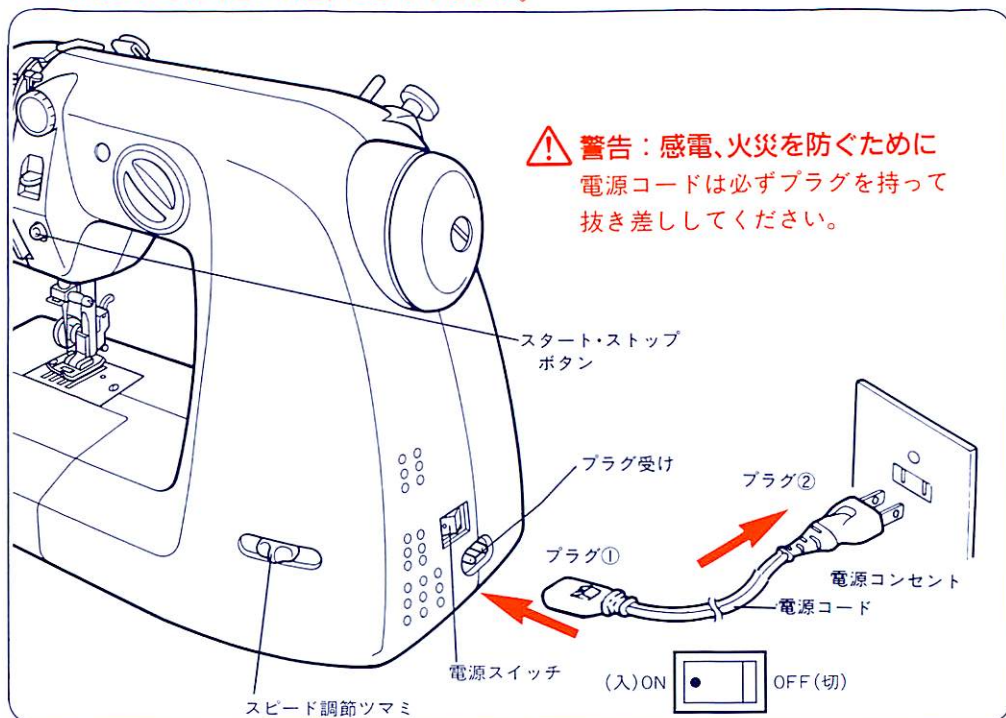
⚠注意:ケガ防止のために  ON (入) OFF (切)

- ご使用後は「OFF」にしてください。
- 針の取り替え、押えの取りはずし、ホビンケースの取り出し、糸のからみ、ミシンの停止のときも「OFF」にしてください。

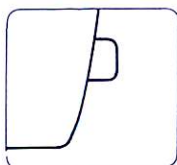
電源のつなぎ方と始動・停止

- ミシンを安定したテーブル、机に置いてください。

※ 下糸巻き軸を左(縫い状態)にしてください。



スタート



ストップ

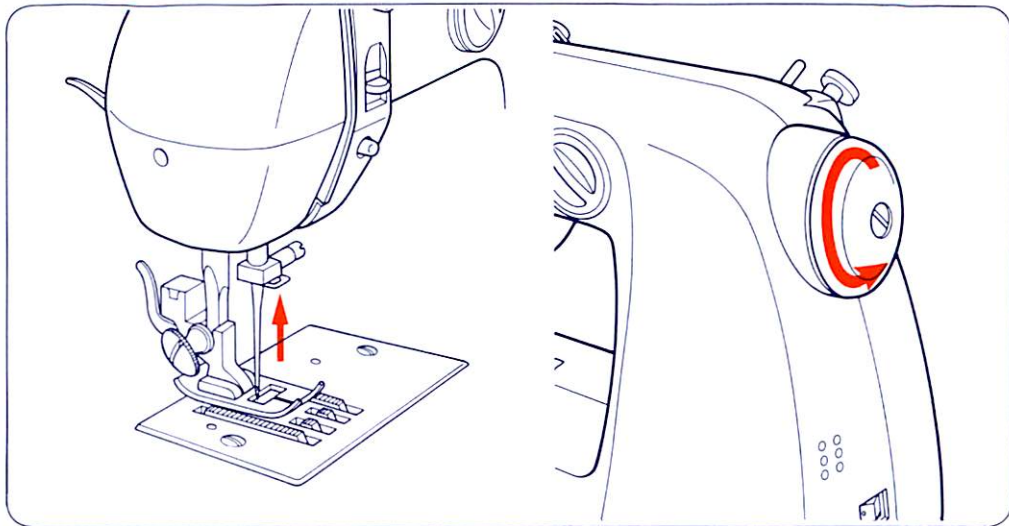
- ① 電源コードを補助テーブルの中から取り出して、プラグ①をミシンに、
- ②を家庭用電源(100V50/60Hz)に差し込みます。
- ② 電源スイッチを「ON」にしますと、照明ランプが点灯します。
- ③ ミシンを回転する場合は、スタート・ストップボタンを押すとミシンが始動し、もう一度押しますと停止します。
- ④ 縫う速さは自由に選べますので、お好みの速さにスピード調節ツマミをセットして下さい。右にしますと速くなり、左にしますと遅くなります。

⚠️ 注意：ケガ防止のために

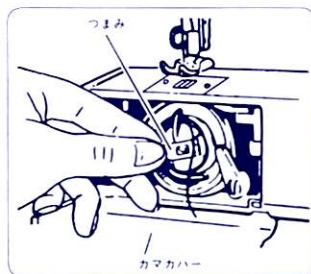
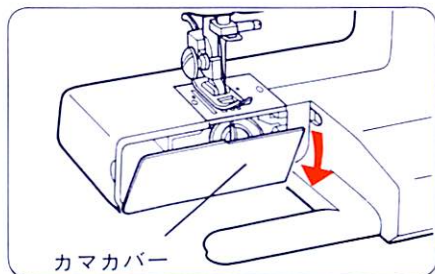
- 使用中に糸がからんだり、ミシンが止まった場合には、電源スイッチを「OFF」にしてください。
- ミシンを使用しないとき、ミシンから離れるときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ボビンケースの取り出し方

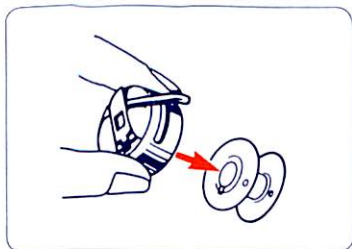
⚠ 注意:ケガ防止のために
必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



- ① はずみ車を手前(矢印の方向)に回して針を最上点に上げます。
- ② カマカバーを開いて、ボビンケースのつまみを持ってボビンケースを取り出します。



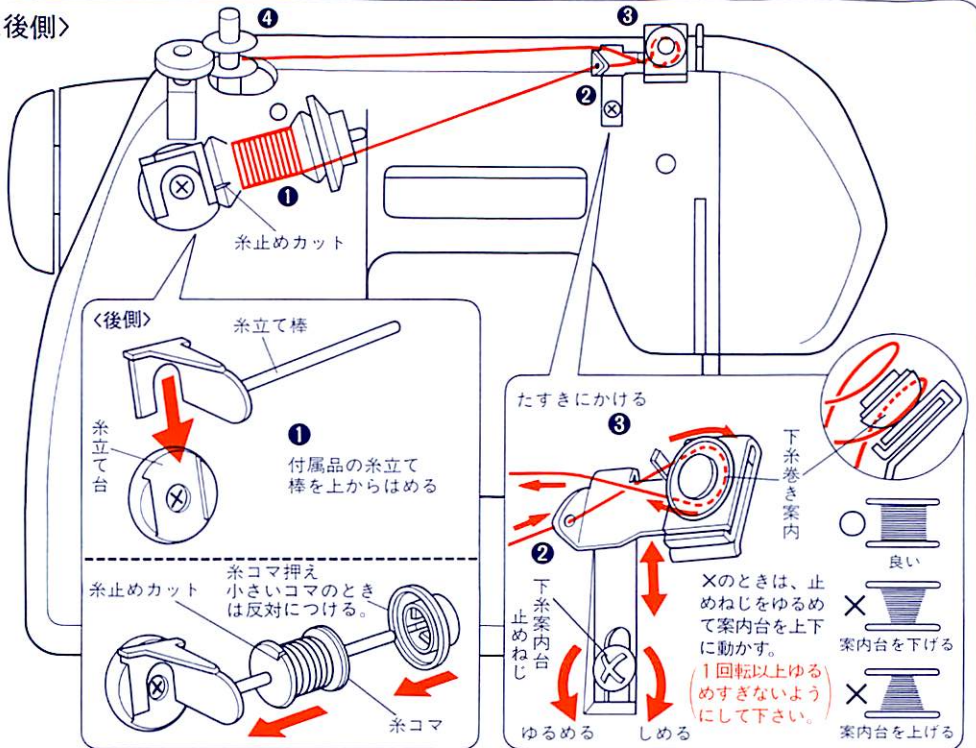
- ③ つまみを閉じてボビンを取り出します。



下糸の巻き方 (押えを上げておいて下さい。)

※ オートクラッチの糸巻きですから針が動かず安全です。

〈後側〉



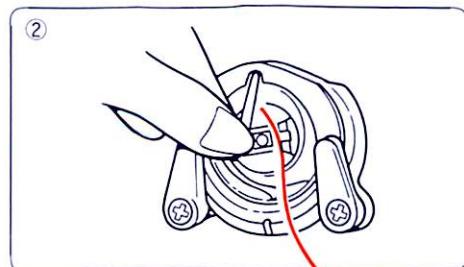
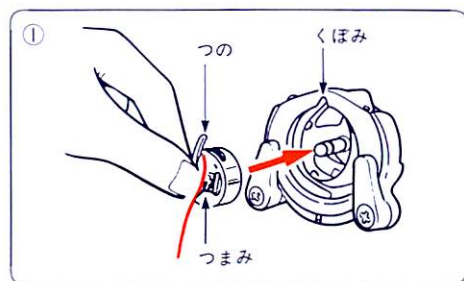
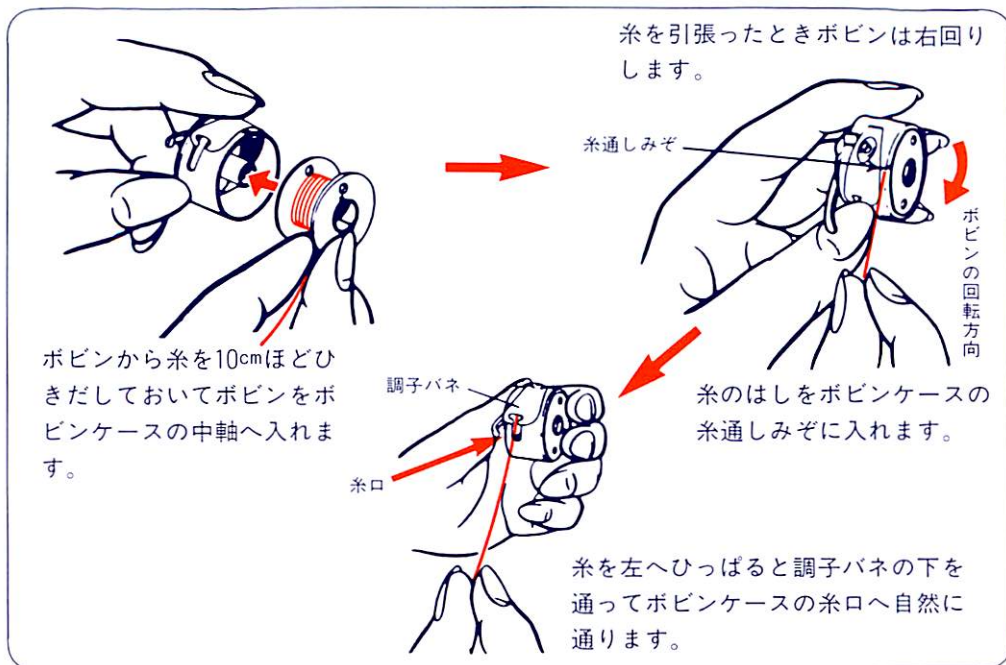
- ① 糸立て棒に糸コマ①を図のように入れ、糸コマ押えで押える。糸を②に通し、下糸巻き案内③に図のようにかけてから、糸の先をボビン④の穴に内側から糸を通し、ボビンを下糸巻き軸にはめこみます。
- ② 糸の端を持ち、ボビンを右へ押しして電源スイッチを「ON」にして、スタート・ストップボタンを押し、ボビンが数回回転しますと、糸を離します。巻き終わったらスタート・ストップボタンを押し、ボビンを左へ戻してはらずし、糸を切ってください。
- ③ 下糸がボビンに平らに巻けないときは、②の下部にある下糸案内台止めねじを少しゆるめて案内台上、または下へ動かします。

※ 下糸巻きが終わったらスタート、ストップボタンを押し、ボビンの回転が止まってからボビンを左へ戻したのち、はずします。
下糸巻き軸を左にすると針が動きます。



ボビンケースの取り付け方

●ボビンをボビンケースに入れます。



●ボビンケースをカマに入れます。

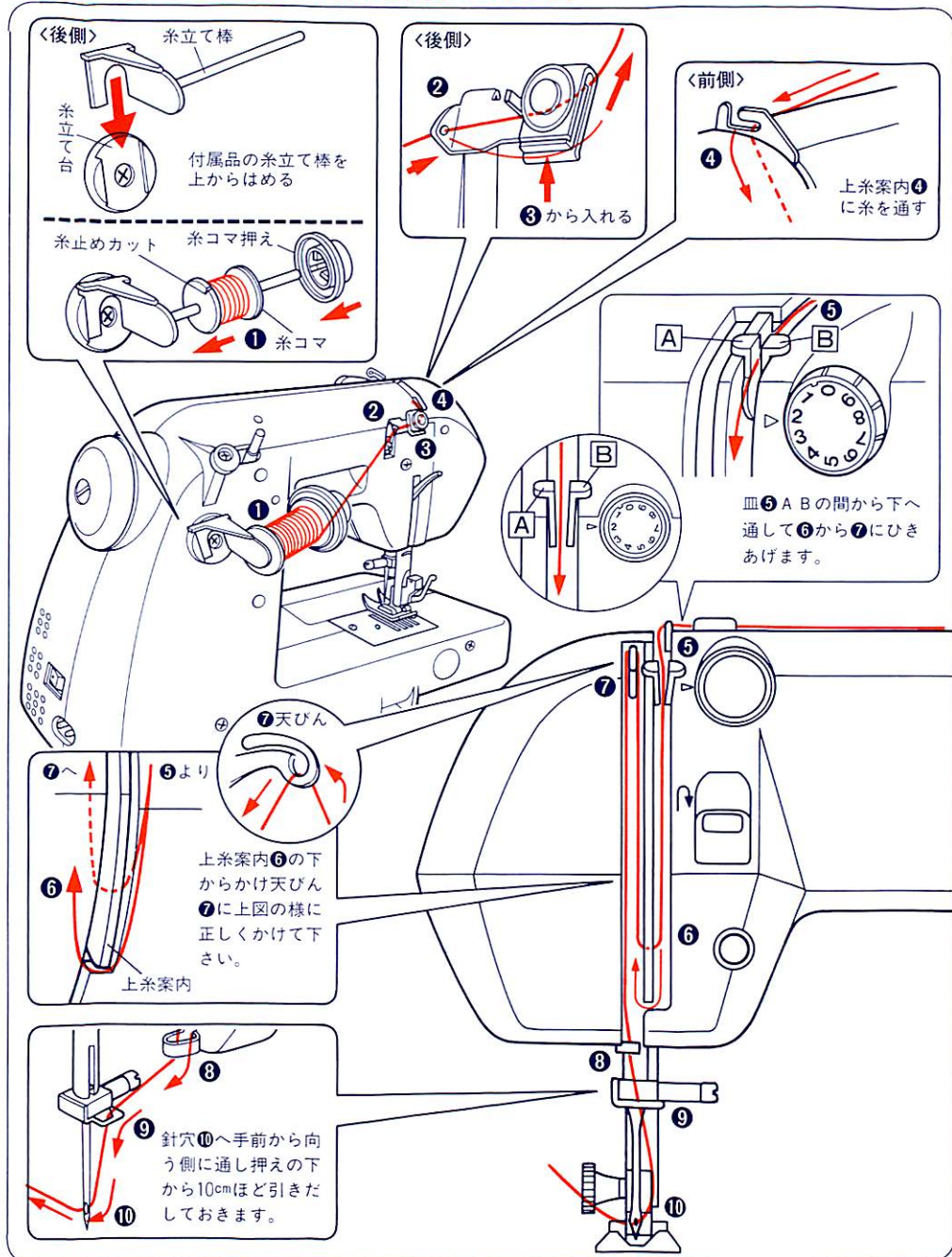
- ① 針を一番上にあげておきます。ボビンケースのつまみをいっぱいにおこしてもち、つのがカマのくぼみに入るようにしてさしこみます。
- ② しっかりさしこんだ後つまみをはなして、糸をたらしておきます。

⚠️注意：ケガ防止のために

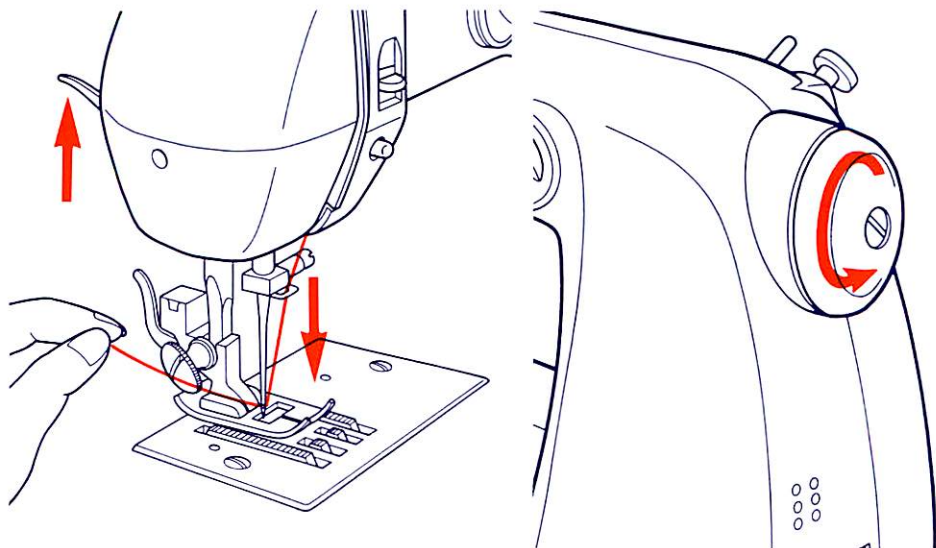
- ミシンを運転する際は必ずカマカバーを閉めてください。
- ※ ボビンケースのつのがカマのくぼみにきちんと入っていないと、ボビンケースがはずれて、縫えません。

上糸のかけ方 (押えを上げ、天びんは一番上まであげておきます。)

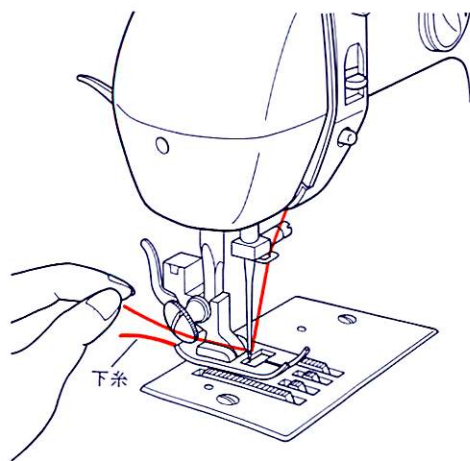
※小さい糸コマのときは糸コマ押えを反対につけます。



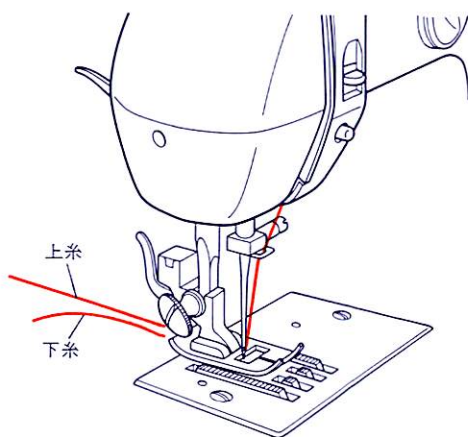
下糸の引き上げ方



- ① 左手で上糸をかるく持ち、はずみ車を手前（矢印の方向）に一回転させます。

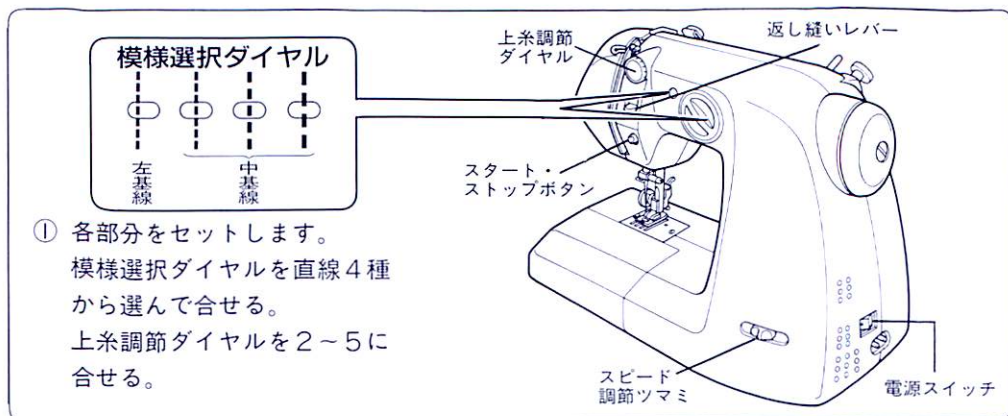


- ② 上糸を軽く引き上げると、下糸が引き出されます。



- ③ 上糸と下糸をそろえて押えの下に通し、10cmほど引き出しておきます。

直線縫い (押えの左又は中央で縫います)



② はずみ車を手前に回して天びんを一番上に上げます。

③ 上糸と下糸を揃えて押えの下から向うへ10cmほど引き出します。

④ はずみ車を手で手前に回して縫い始める位置に針を刺し、押え上げをおろしてください。

⑤ 電源スイッチを「ON」にし(照明ランプが点燈)スタート・ストップボタンを押して縫い始めます。縫う速さはスピード調節ツマミできめてください。最低速度よりも、さらにゆっくり縫う場合には、2つの方法があります。

1 スタート、ストップボタンを押したらすぐに再度押すを繰り返します。

2 はずみ車を手で手前にまわします。

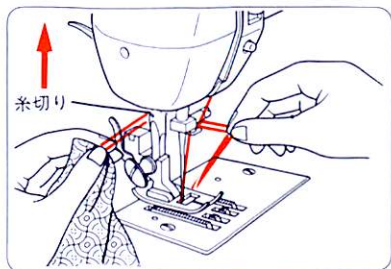
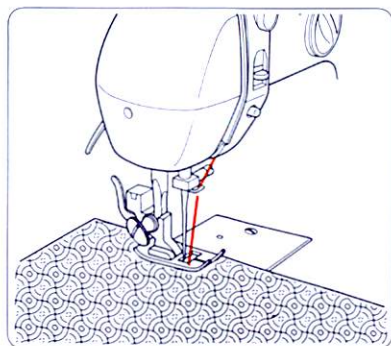
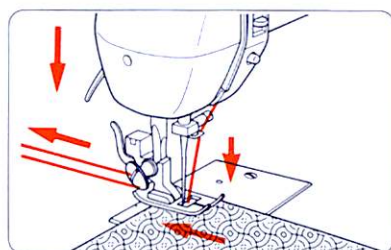
⚠️ 注意：ケガ防止のために

● 針先には十分注意してください。

● 布地は、ミシンによって送られますので、無理に引っ張ったり、押しつけないでください。針が折れ、ケガをする恐れがあります。

⑥ スタート・ストップボタンを押して止めます。

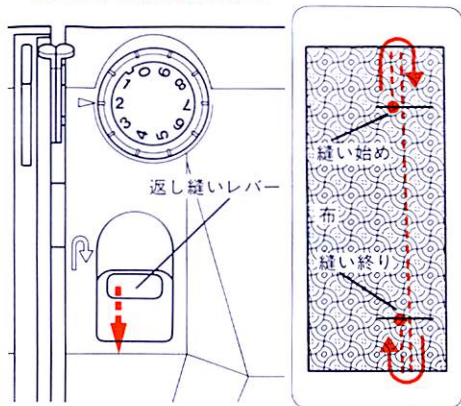
⑦ 針と押えを上げ、押え棒の糸切りに上下2本の糸を同時にかけてください。両手で糸を下の方へ引くと糸が切れます。



返し縫い

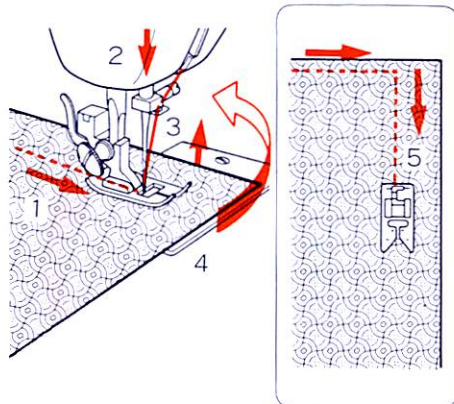
- 返し縫いレバーを下に押し下げている間は、返し縫いができます。
- 縫い始めと縫い終りに3~5針返し縫いをしておきますと、縫い目がほころびず、丈夫になります。

※レバーは軽いところ(遊び)より更に押し下げてください。遊びの量は模様の種類や針の位置によって変わります



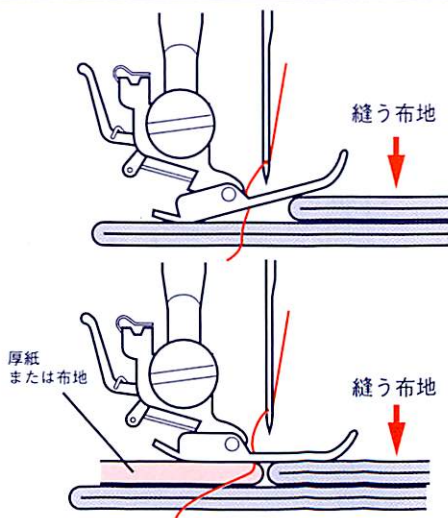
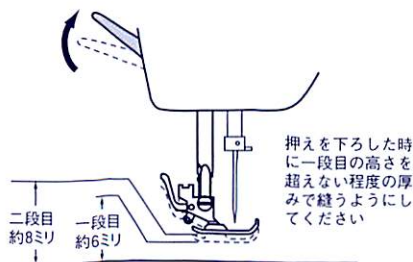
縫い方向のかえ方

- ① 布地の角まで来たら、ストップします。
- ② はずみ車を手で手前に回して針を下げ、布に刺します。
- ③ 押えを上げます。
- ④ 針を軸にして布地を回し、縫い方向にセットします。
- ⑤ 押えを下げて、縫い始めます。



厚地や段縫いの場合には

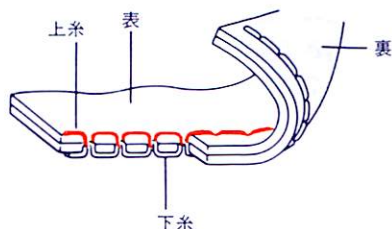
厚地を押えの下に入れる時は、下図のように一段上がったところから、もう一段上げる事ができます。二段目の位置には固定しませんので、手をはなすと、一段目の位置に戻ります。また右図上の様に、段縫い等で押えが傾いてしまうとスムーズに縫えなくなりますので、このような時は押えの下に同じ厚さの布や厚紙をあてがって縫い始めます。



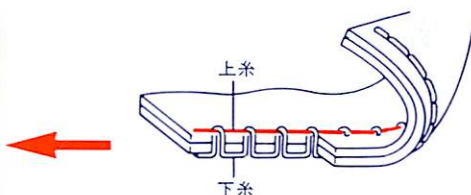
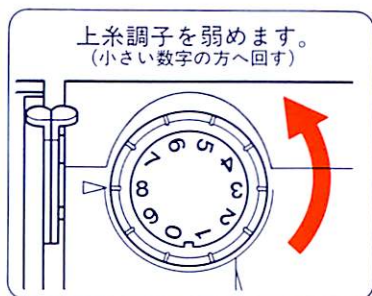
上糸・下糸調子のとり方

■正しく調節されている場合

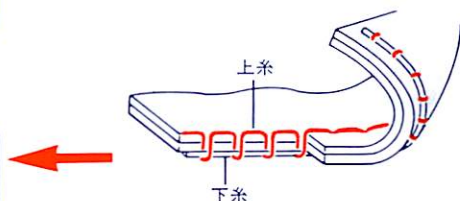
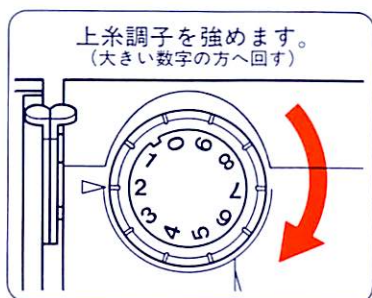
右図のように、上糸と下糸が布の丁度中間で交叉して、かつ、布や糸がつれたり、たるんだりしていないのが正常です。



■上糸が強い場合



■上糸が弱い場合



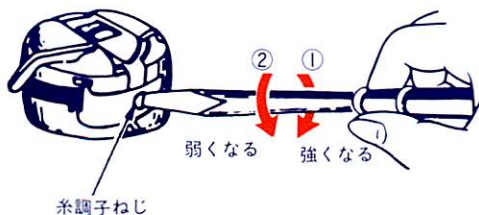
(下糸の調節は……)

下糸の調節はボビンケースで行いますが、出荷時に標準的な設定で調整されていますので標準的な糸と布を使用する限りは調節の必要がありません。下糸を調節するのは、糸のかけ方など取扱いにまちがいがなければ十分に確認してから行うようにしてください。

図の糸調子ネジを

- ①右へ回すと、糸調子は強くなり、
- ②左へ回すと糸調子は弱くなります。

1/4回転させても縫い目に変化の出ない時は、下糸調子以外に不具合がありますから、再度取扱い方法と、針と糸の選び方を参照して確認してください。



針と糸の選び方

●針と糸の選び方

出荷時、ミシンには14番の針が取り付けられています。

布地の種類	糸の番号	針の番号	縫い目長さ (直線縫い)
※薄地——薄地ジョーゼット、 オーガンディー、ボイル、タフタ、 絹布など。	綿 80~100 絹 60~80 化繊糸80~100	9~11番	
普通地——ギンガム、ピケ、リンネル、 さらさ木綿、サテン、薄手コーデュロイ、 別珍、一般服地など。	綿 50~80 絹 50 化繊糸50~80	11~14番	
厚地——ギャバジン、ツイード、デニム、 キルティング、コーデュロイ、※タオルなど。	綿 40~50 絹 50 化繊糸50~60	16番	
伸縮性の布地——ダブルニット、 トリコット、スパンデックス、 ジャージなど。	化繊糸50~80 絹 60 ニット用糸	11~14番 ニット用針	

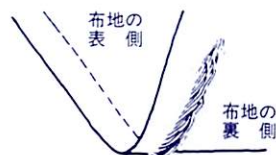
※特殊な薄地や、特殊な毛足のタオルなどはこのミシンでは縫えないものもあります。
布送りが悪い時はトレーシングペーパーなどを布の下に敷いて下さい。

⚠注意：ケガ防止のために

- 針は家庭用ミシン針とご指定の上、お買い求めください。
- 針の取りかえは16ページを参照してください。

布地の裏側がタオル地のようにするのは

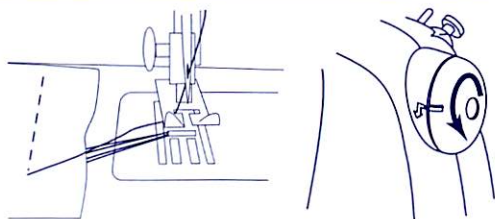
右図のように布地の表側は普通に縫えて、裏側がタオル地のようにするのは上糸の調子がよいか上糸のかけかたがまちがっています。10ページをごらんの上、正しくかけ直してください。また、上糸調子の調節のしかたは14ページをごらんください。



押えを上げてても布を引き出せない時には

押えを上げて布を取り出す時に、布を引き出せなかったり、右図のように針板の穴から糸が何本も引出される時は、はずみ車を手前（矢印の方向）に回して、はずみ車と本体の印を合わせてください。

※糸がからみますので必ず手前に回すようにしてください。

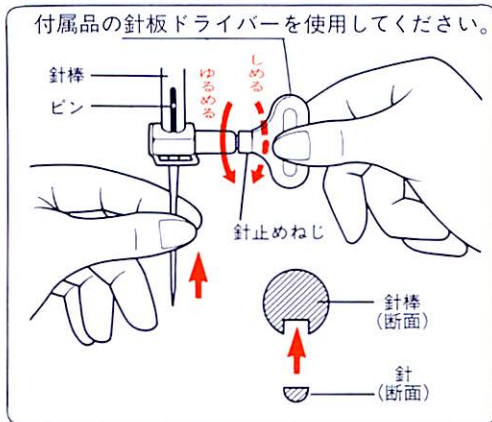


針の取りかえ方

針は、布地や糸に合わせて選びます。
15ページの「針と糸の選び方」を参照してください。

⚠️ 注意：ケガ防止のために
必ず電源スイッチを「OFF」にしてから行なってください。

- ①はずみ車を手前に回し、針棒を最上部に上げます。
- ②針止めねじをゆるめて、針ははずします。
- ③針の平らな面を針棒の針みぞの方へ向けて深くピンに突きあたるまで差し込みます。
- ④針止めねじをかたくしめます。

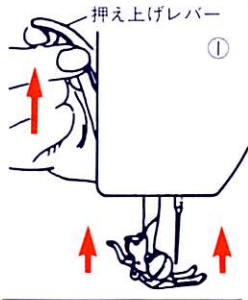


押えの取りはずし方、取りつけ方

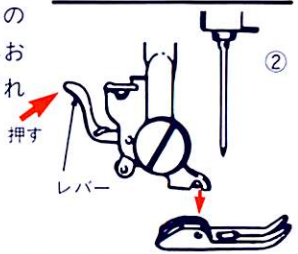
⚠️ 注意：ケガ防止のために
必ず電源スイッチを「OFF」にしてから行なってください。

■取りはずし方

針と押え上げレバーをあげておきます。



指先でホルダーのレバーを手前へおすと押えがはずれます。

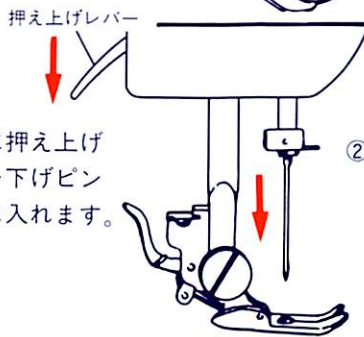


■取りつけ方

押えのピンの部分をホルダーのみぞの真下におきます。



しずかに押え上げレバーを下げピンをみぞに入れます。



※どの押えも、この要領で取りはずし、またセットできます。

ジグザグ縫い・縁かがり (裁ち目かがり)

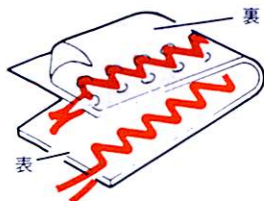
模様選択ダイヤルをジグザグ
4種から選んで合せる。

模様選択ダイヤル

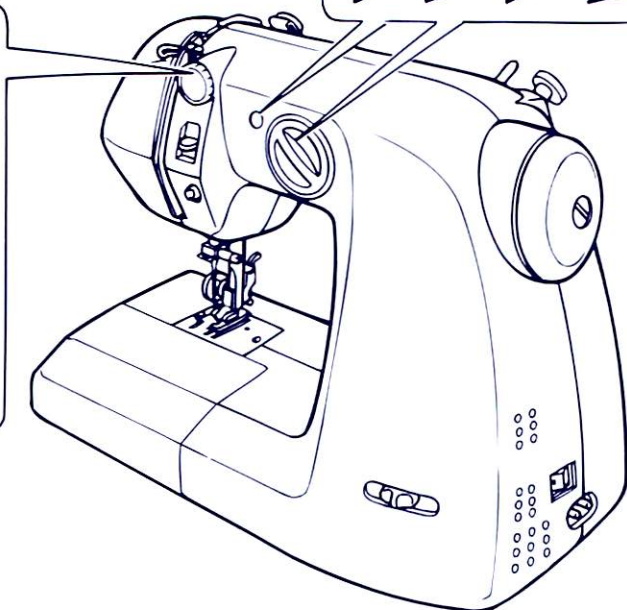
巾2 巾3.5 巾5 巾5



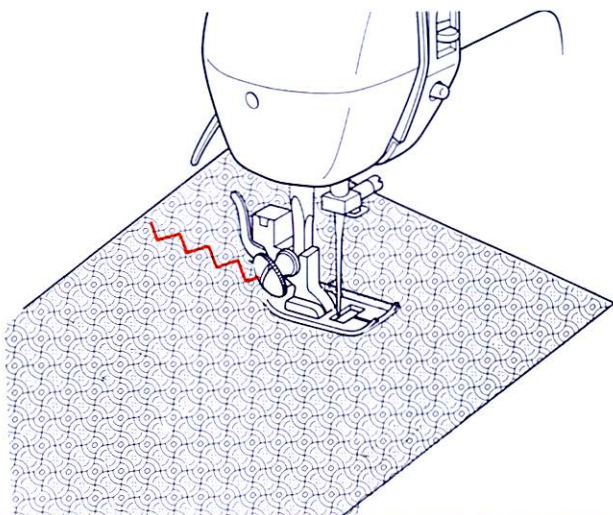
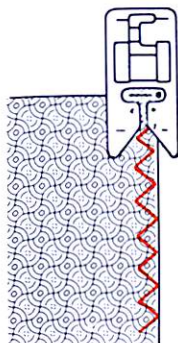
ジグザグ縫いの糸調子は



布の裏側に上糸が少し出
るように、直線縫いのと
きより上糸調子をやや弱
めにしてください。



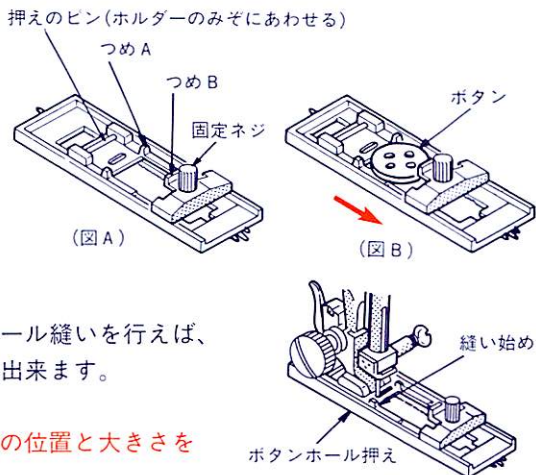
縁かがり
(裁ち目かがり)



ボタン穴かがり

● ボタンホール押えの使い方

- ① 押え金と針を最高の位置まで上げてください。普通の押えをはずし、ボタンホール押えを取りつけます。(交換の仕方は16ページをごらんください。)
- ② 本体(図A)を手前に引き寄せます。
- ③ つめAとつめBの間にボタンをはさむようにして置き(図B)固定ネジをスライドさせて固定します。
- ④ ボタンを取り除き、可動範囲でボタンホール縫いを行えば、ボタンの大きさに応じたボタンホールが出来ます。

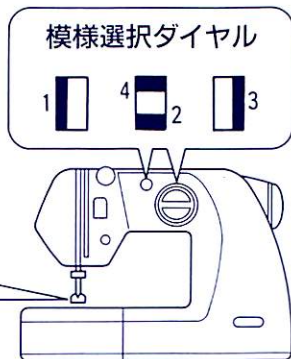
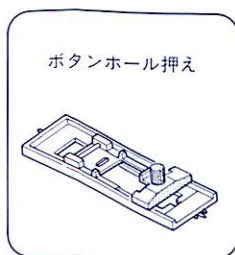


(注)①鉛筆かチャコで布地にボタンホールの位置と大きさをマークして下さい。

- ②最も適正な大きさをきめるため、布切れで試縫いしてください。
- ③極薄の布地や化繊地を縫う時は、布地の裏に紙を一枚あてますとゆがみが防げます。

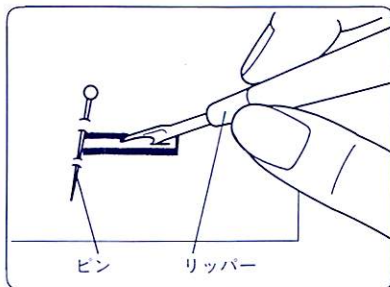
● 縫い方

ダイヤルのセット順	<p>①</p> <p>模様表示窓</p>	<p>②</p> <p>模様表示窓</p>	<p>③</p> <p>模様表示窓</p>	<p>④</p> <p>模様表示窓</p>
縫い方	<p>スタート位置</p> <p>図のスタート位置からゆっくり縫い始めてつめBがつめAと並んだときにミシンを止め、針を上げます。</p>	<p>ミシンを運転して5～6針かんぬき止め縫いをしたところでミシンを止め、針を上げます。</p>	<p>ミシンを運転して左側の縫い目と平行になるように右側を図の位置までゆっくり縫い、ミシンを止め、針を上げます。</p>	<p>5～6針かんぬき止め縫いをします、なお、模様選択ダイヤルを直線縫い(1)にセットして、1～2針止め縫いをしてください。</p>



●縫い終わり

縫い終わりましたら布地をはずして糸を切り、付属のシームリッパーで縫い目を切らないようにボタン穴を切りひらきます。



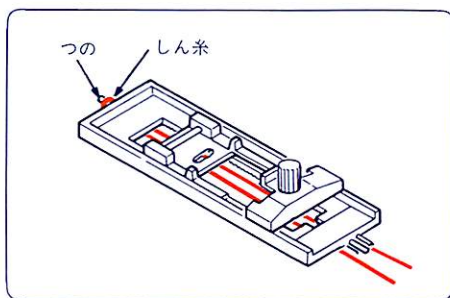
⚠注意：ケガ防止のために

リッパーで穴を切り開くとき、リッパーの先端に手や指をおかないでください。すべったとき、ケガをする恐れがあります。

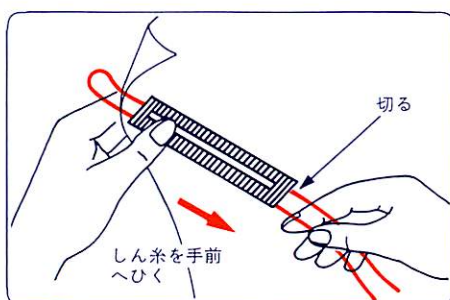
●しん入りボタンホール

伸縮性のある布地や、丈夫なボタンホールに…

しん糸をボタンホール押えのうしろのつの部にひっかけて押えの下から手前にひき、しん糸のはしをしっかりとって縫います。

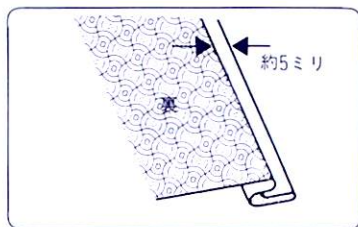


縫いあげましたら、しん糸を押えのつのからはずして、布地をミシンからはずして、図のようにしん糸の両端をひいてたるみをなくし、余分のしん糸を切りとります。

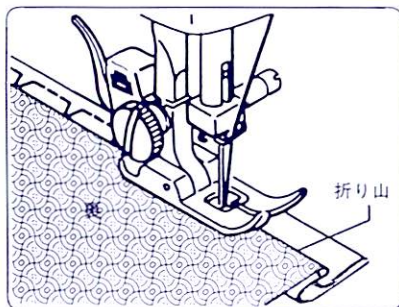
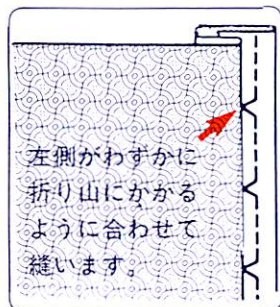
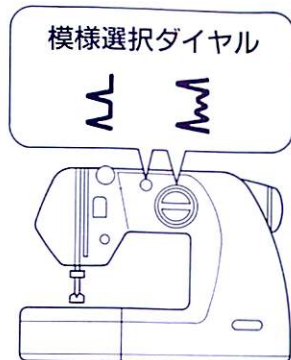


まつり縫い (ブラインドステッチ)

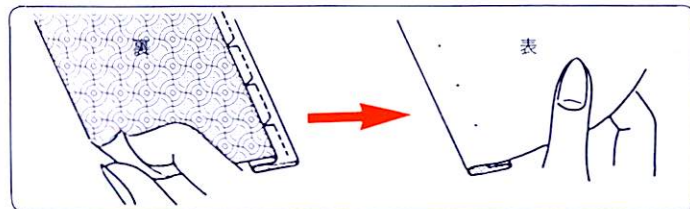
- 布地の表面に目立たない縫い目を作る縫い方です。
- ズボンやスカートの裾・袖口の裁縫に用います。お子さんの服のたけの直しなどにもぜひご利用ください。



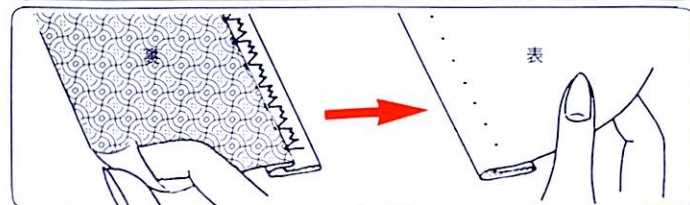
★布地は図のように折ります。
縫い上り後の布地の裏・表を間違えないように充分注意してください。




- はずみ車を手前に回して針が最も左側にくるようにしておきます。その時に針が折り山にわずかに刺さるように布の位置を合わせて縫います。



- 縫い終わりましたら、布をかえします。

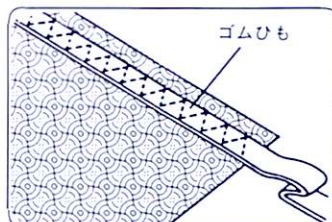
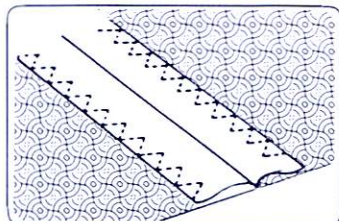
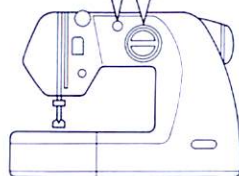


-  の模様は伸縮性の布地に適しております。

点線ジグザグ縫い

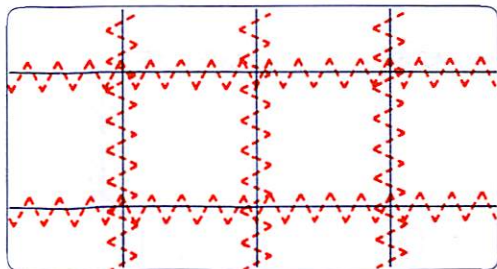
- ジャージ・トリコットなど伸縮性のある布地の裁縫に適したジグザグ縫いです。
布地が伸びても縫い糸の切れる心配はありません。
- ゴムひもの縫いつけや、伸縮性布地の縁かがりなどにも利用します。

模様選択ダイヤル

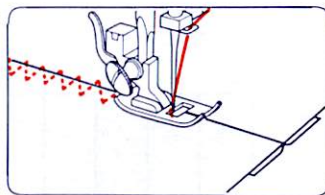
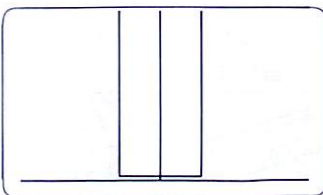
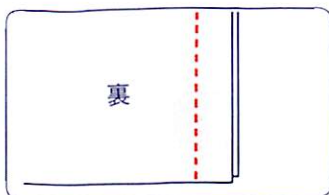
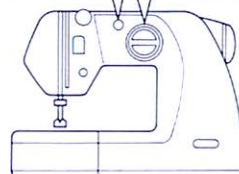


パッチワーク

いろいろな布をはぎ合わせ、装飾に用います。



模様選択ダイヤル



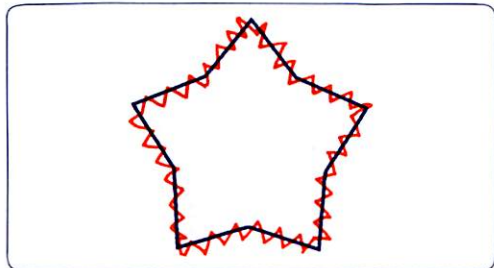
① 2枚の布地を中表に合わせて縫いをします。

② 縫い代を開きます。

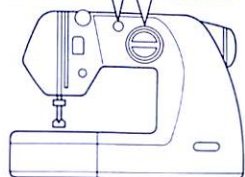
③ 両方の布地に模様がまたがるようにして縫います。

アップリケ

市販や自作のアップリケ布を丈夫に縫いつけます。

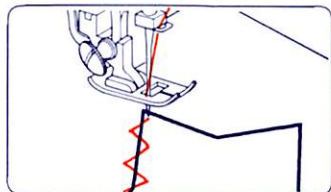
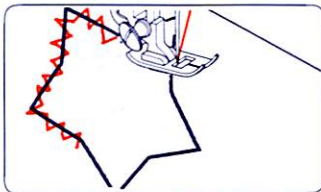
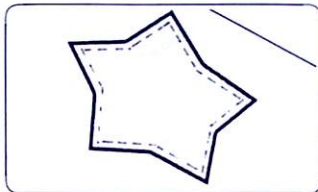


模様選択ダイヤル



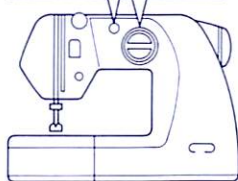
- ①アップリケ布を止めます。②アップリケの布はしを縁のりづけ、またはしつけかがりと同じ要領で縫いつけます。

- 急な角度を縫う場合
布はしに針を落とした状態で押えを上げ、布地を回します。

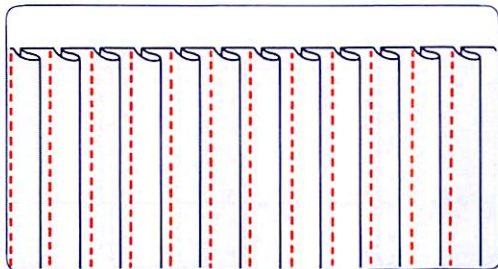


ピンタック

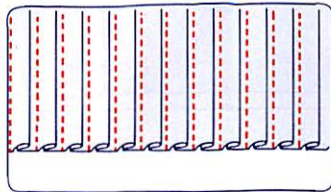
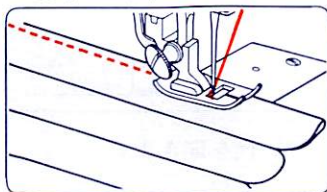
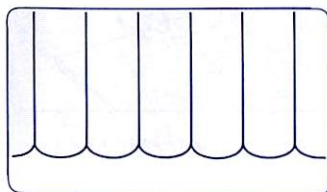
模様選択ダイヤル



ブラウスなどの装飾に使います。



- ①アイロンでピンタックの折り山を整えます。②折り山を伸ばさないようにしながら、ピンタックを縫います。③アイロンで片側に倒します。



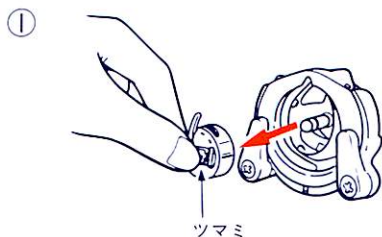
ミシンの手入れ

⚠ 警告：感電・ケガ防止のために

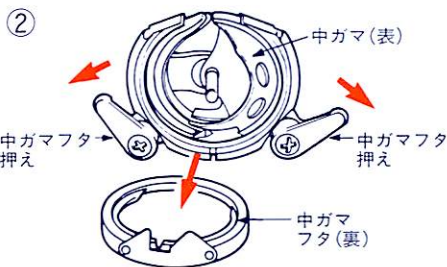
お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。

●カマの掃除と注油

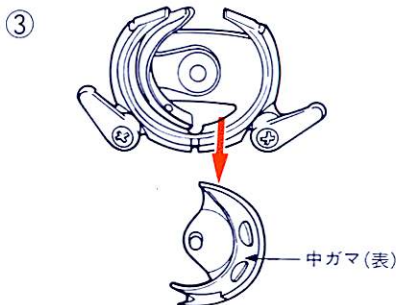
カマの中に糸くずやほこりがたまるとミシンの回転が重くなりますから、つぎの要領で月一回掃除してください。まず、はずみ車を手前に回して針を一番上まで上げておきます。ミシンを向う側にたおして手入れしてください。



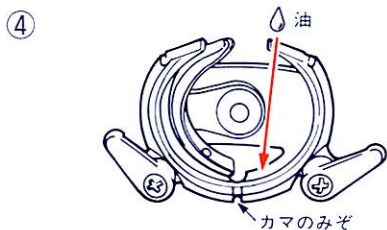
カマカバーをひらき、ボビンケースのツマミを持ってボビンケースを取り出します。



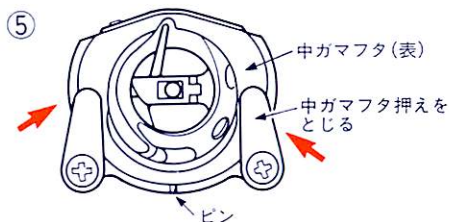
中ガマフタ押えを左右にひらいて中ガマフタをはずします。



中ガマを取りだします。



カマのまわりの糸くずやほこりを付属のブラシで取り除き、矢印のところに油を一滴させておきます。



取りつけるときは、中ガマ、中ガマフタの表を前側にして順にはめこみます。このとき、中ガマフタのピンをカマのみぞに合わせます。

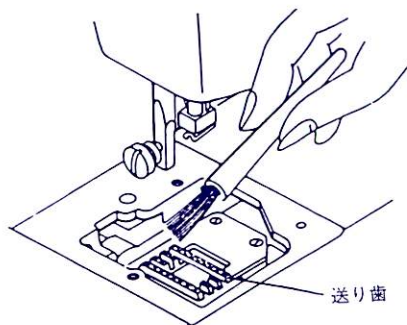
※はずみ車を回して、針がスムーズに上下するかどうかたしかめてください。

ミシンの手入れ

● 送り歯の掃除

送り歯や針板にほこりがたまりまると、布送りが悪くなることがあります。

ときどき針板をはずしてブラシなどで取り除いてください。



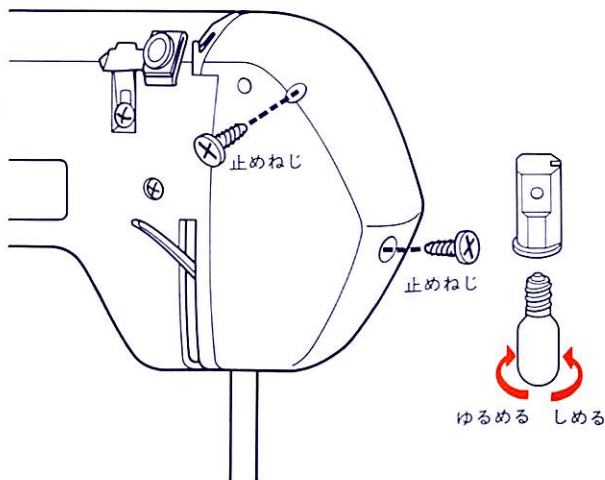
2本の止めねじをはずして針板をはずします。

ランプの交換

⚠ 注意：ケガ防止のために
長時間使用していると、ランプが熱くなりやけどをする恐れがあります。電源プラグを抜いて十分冷えてから交換してください。

- ① 2本の止めねじを外して面板をはずします。
※ お手持ちのマグネット式プラスドライバーをご使用ください。
- ② ランプを左へ回してはずします。
- ③ 取りつけるときは右へ回してしめます。

注 ランプは100V5W、口径12mmのミシン用ランプに限ります。



ミシンの仕様

型式	AG-001
定格電圧	100V
消費電力	50W(ランプ5W含む)
周波数	50Hz/60Hz
ランプ定格	5W100V 口径12mm
寸法	幅:38cm×奥行:17.3cm×高さ:26.2cm
重量	5.3kg
専用電源コード	コード長さ2m

こんなときには (調子が悪い場合)

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめてください。

不調の状態	原因	処置	参 照 ペー ジ
ミシンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの差し込みが不十分である ●電源スイッチが入っていない ●下糸巻き軸が右になっている ●カマに糸がからみついている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶しっかり差し込みます ▶スイッチを入れます ▶下糸巻き軸を左にします ▶カマを掃除します 	6 6 6、8 22
上糸がからまる	<ul style="list-style-type: none"> ●上糸のかけ方がまちがっている ●カマ・ボビンケースのセットがまちがっている。 ●上糸調節ダイヤルが0になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくかけ直します ▶正しくセットし直します ▶適正な強さに調節します 	10 9 14
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●カマに糸がからまっている ●針の取りつけ方がまちがっている ●糸調子が強すぎる ●布地に対して糸が弱すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくかけ直します ▶からんだ糸を取りのぞきます ▶正しくつけ直します ▶適正な強さに調節します ▶布地と糸、針の関係を合わせます 	10 22 16 14 15
下糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●ボビンのセットがまちがっている ●カマ・ボビンケースに糸がからまっている ●カマに糸くずがたまっている ●下糸の調子が強すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくセットし直します ▶からんだ糸を取りのぞきます ▶掃除します ▶調節ねじをゆるめます 	9 9、22 22 14
縫い目がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●針の取りつけ方がまちがっている ●針が曲がっているか、先がつぶれている ●布地に対して糸と針が合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくつけ直します ▶針を取りかえます ▶布地と糸、針の関係を合わせます 	16 16 15

不調の状態	原因	処置	参照ページ
縫い目にしわがよる	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●カム・ポビンケースのセットがまちがっている ●針の先がつぶれている ●糸調子が強すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくかけ直します ▶正しくセットし直します ▶針を取りかえます ▶適正な強さに調節します 	10 9、22 16 14
縫い目に輪ができる	<ul style="list-style-type: none"> ●カム・ポビンケースのセットがまちがっている ●糸のかけ方がまちがっている ●糸調子がつり合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくセットし直します ▶正しくかけ直します ▶適正な強さに調節します 	9、22 10 14
布地を送らない	<ul style="list-style-type: none"> ●縫い目の長さが布地に合っていない ●送り歯に糸くず、ごみがたまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶模様を選び直します ▶掃除します 	12 23
針が折れる	<ul style="list-style-type: none"> ●布地を無理に引っ張っている ●針の取りつけ方がまちがっているか、しめ方がゆるい ●布に対して針が細すぎる ●糸調子が強すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶手は布地にそえるだけにします ▶正しくつけ直します ▶布地と糸、針の関係を合わせます ▶適正な強さに調節します 	12 16 15 14
回転が重く音が高い	<ul style="list-style-type: none"> ●カムの内部に糸くず、ごみがたまっている ●送り歯にごみがたまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶カマを掃除します ▶針板をはずして送り歯を掃除します 	22 23
布地の裏側がタオル地のようになる(15ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ●上糸のかけ方がまちがっている ●上糸調節ダイヤルが0になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶正しくかけ直します ▶適正な強さに調節します 	10 14

この項に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、ご購入店または「お客様相談係」(裏表紙参照)におたずねください。

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入日から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、本社消費者相談室へお申しつけください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

1. 取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

お問合せ お客様相談係（お客様通話無料）

●東日本地区

☎0120-200-600

(AM10:00~PM5:00 水曜休み)

石田株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2丁目37番10号

●西日本地区

☎0120-555-564

(AM9:00~PM5:00 日曜・祭日・土曜休み)

株式会社 アックス ヤマザキ

〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号

【訂正のお知らせ】

説明書29ページの一部が訂正となりましたので、ご迷惑をおかけしますが説明書29ページにつきましては、こちらの用紙をご参照願います。

純正指定アクセサリのご案内

表示価格は予告なく変更の可能性があります。

■純正オプション部品

このミシンでは一般的な家庭用ミシン部品が使用可能ですが、市販部品にはこのミシンに適合しない部品もございますので、お求め際には純正部品のご購入をお勧めいたします。

※下記の部品はカタログハウスではお取り扱いをしておりません。

ファスナーつけ押え
価格 ¥210 (税込)
送料 ¥80



ファスナーを取り付ける際に便利です。

* 直線縫い模様が左基線の場合はご利用頂けません。<注>
* コンシールタイプ【価格 ¥210 (税込) 送料 ¥80】は下記お問い合わせ先までお問い合わせください。<注>

縁かがり押え
価格 ¥199 (税込)
送料 ¥80



縁かがりの際に幅を一定にさせるのに便利です。

*ジグザグ縫い巾5でのみの使用になります。

直線押え
価格 ¥210 (税込)
送料 ¥80



直線の縫い目によりこだわられる方にお薦めです。

*直線縫い模様が左基線の場合はご利用頂けません。<注>

<注>機械番号の文字色が【黒色】の場合はご利用頂けません。

■純正補充部品

糸立棒
価格 ¥252 (税込)
送料 ¥120

糸コマ押え
価格 ¥94 (税込)
送料 ¥120

専用電源コード
価格 ¥525 (税込)
送料 ¥160

付属説明シール
価格 ¥105 (税込)
送料 ¥80



(以下の部品は手芸店等でもお求めいただけます)

針パック (普通針 #11, 14, 16 / ニット針 #11)
価格 ¥210 (税込)
送料 ¥80



当社以外でご購入の際には、家庭用ミシン針 HAX1タイプとご指定下さい。(一般的な家庭用です)

ボビン(10個)
価格 ¥420 (税込)
送料 ¥120



当社以外でご購入の際には下記の高さのプラスチックボビンをご指定下さい。



*ボビンの高さは約11.5ミリです

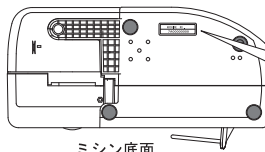
※2点以上の部品をお求めの場合は、1回のご注文につき【全国一律210円】となります。

■ご購入方法

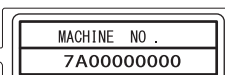
日本郵便 (JP) で払込取扱票用紙 (青色) にお客様の氏名、住所、電話番号を明記し、通信欄にご希望の商品名、ご使用のミシン型式 (AG-001)、ミシン底面に添付している機械番号の文字色をご記入のうえ、部品価格と送料を下記口座までお振り込みください。お振込み確認後に発送いたします。(※お振込み手数料はお客様でご負担願います)

お振込み先

口座番号 00970-7-39524
口座名 (株)アックスヤマザキ




ミシン底面



機械番号

<文字の色>

■部品請求のお問い合わせ先

株式会社 アックスヤマザキ  フリーダイヤル 0120-555-564 TEL 06-6717-5851
(月～金 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 土・日・祝祭日休み)

【販売者】 株式会社 **カタログハウス**

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-2

商品ご説明課 ☎0120-701-567

【製造者】 株式会社 **アックスヤマザキ**



〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号

TEL.06-6717-5851
